泉谷しげる PROFILE

1948 年 5 月 11 日	5 月 11 日　青森県長島に生まれる。3 才で上京、東京都目黒区青葉台で育つ。
1971 年	エレックレコードより『泉谷しげる登場』でデビュー。
1972 年	アルバム『春夏秋冬』を発表し、幅広い層の支持を受ける。
1975 年 6 月	吉田拓郎・小室等・井上陽水らとレコード会社フォーライフを設立。リリース第 1 弾として『ライブ！！泉谷』を発売。
1976 年 7 月	L.A.のクラブ「トルバドール」にて単独ライブを開催、観客を熱狂させる。
1978 年 10 月	ワーナーパイオニアの洋楽レーベル、アサイラムに移籍。『'80のバラッド』を発表し、絶大な評価を受ける。
1979 年 6 月	テレビ朝日系ドラマ『戦後最大の誘拐・吉展ちゃん事件』に出演し、テレビ大賞及び芸術祭優秀賞を受賞、役者としても注目を浴びる。
1980 年	松竹映画『ええじゃないか』（今村昌平監督）に出演。また『狂い咲きサンダーロード』で美術・音楽を担当し、ブルーリボン美術デザイン賞を受賞。
1982 年 5 月	レコード会社をポリドールに移籍。
1983 年 2 月	TBS 系ドラマ『金曜日の妻たちへ』に出演し、知名度を全国に広げる。
1986 年 6 月	自らが監督・美術を手掛けたビデオ作品『デス・パウダー』を発表。
1988 年 1 月	ビクター・レコードに移籍後、第 1 弾として『吠えるバラッド』を発表。
1988 年 12 月	自ら監督・出演したオリジナル・ビデオ『ネイビー・ロックウォー・撃破せよ』を発表。海上自衛隊の全面協力を得た特撮シーンが話題を呼ぶ。
1991 年	デビュー20 周年を迎え『泉谷しげる with LOSER ツアー1991 叫ぶひと囁く』を全国 10 都市で開催。
1993 年 4～6 月	TBS 系テレビドラマ『谷口六三商店』に 72 才の"頑固ジジイ"役で出演。
1993 年 8 月～	北海道・奥尻島救済キャンペーン「一人フォーク・ゲリラ」と題した路上チャリティーライブを、東京23区内で展開。集まった募金はもとより、シングル盤『なぜ、こんな時代に』の印税も全額、奥尻島に寄付する。

泉谷しげる PROFILE

1994 年 1 月 13 日	長崎・普賢岳噴火災害救済チャリティーコンサート「メッセージソングの日」を開催。同年8/16には日本武道館、10/28には島原市文化会館にて、「日本をすくえ'94」を各々開催。
1994 年 7 月	スタジオジブリ制作の映画『平成狸合戦ぽんぽこ』で声優に挑戦。
1995 年 1 月 17 日～	阪神・淡路大震災救済のため、新宿駅東口を皮切りに、再び街頭フォークゲリラを決行。集まった募金はもとより、シングル盤『It's gonna be Alright』の印税も全額寄付する。
1996 年 2 月	阪本順治監督作品『ビリケン』に出演。
1996 年 8 月 26 日	今までのキャリアの集大成ビデオ『泉谷しげる大全集・全身全霊』を発売。
1996 年 10 月～	日本テレビ系バラエティー番組『香取慎吾のアジアの MIKATA』にレギュラー出演。
1996 年 12 月	東映 V シネマ・高橋伴明監督作品『らくがき愚連隊』に出演。
1997 年 2 月 24 日	仲井戸麗市との競演ライブ・『～対決～復讐するは我にあり』を渋谷公会堂にて開催。
1997 年 4 月～	フジテレビ系バラエティー番組『Daiba・ba』にレギュラー出演。
1997 年 7 月	日活映画・北村龍平監督作品『ヒート・アフター・ダーク』に出演。
1998 年 7 月 15 日	レコード会社を再びポリドールに移籍後、第 1 弾として『私には夢がある』を発売。
1998 年 8 月 10 日	"画家"としての作品集『泉谷しげるが作品・IMPACT』を発売。その後、渋谷PARCO、軽井沢トリックアート美術館、福岡夢美術館、神戸西神ニュータウンプレンティにて『泉谷しげるアート展』を開催。
1999 年 1 月 30 日	ファンクラブのみのスペシャルライブをもって、1 年以上にも及ぶ全国津々浦々ツアー『泉谷しげる展』が終了。
2000 年 2 月	アフリカ（ケニア・ナイロビ）にてライブを行う。
2000 年 4～9 月	テレビ朝日系『週刊ワイドコロシアム』にレギュラー出演。事件現場に泉谷自らが出向き、取材する「泉谷が行く」のコーナーが大好評となる。
2000 年 12 月 31 日	長崎・島原城カウントダウンライブに出演。

2001 年 1 月 18 日	テレビ朝日系『週刊ワイドコロシアム』で取材した事件を元に執筆した「とぎすまされた六感」を発売。
2001 年 9 月 1 日	デビュー30 周年を迎え、自らのレーベル『iZ』（イズ）を立ち上げ、第 1 弾として『起死回生』を発表。
2002 年 6 月 15 日	渋谷 AX にて『狂い咲き！31 周年記念ライブ』を開催。レーベル第 2 弾『R-15』を発表。また“盟友”忌野清志郎と共に『スパイスマーケット』を結成し、フジロックフェスティバルなどに参加。
2003 年	フジテレビ系ドラマ『Dr.コトー診療所』に出演し、再び役者としても注目される。
2004 年	ガガガ SP のコザック前田と『生活／永遠のウソつき』を発表。 また東宝映画『ドラえもん、のび太のワンニャン時空伝』に声優として初挑戦。 北海道テレビ制作（’98 年タジキスタンで凶弾に倒れた国際政治学者・秋野豊氏の）ドキュメント番組『青いツバメ』や東宝映画『GODZILLA-FINAL WARS』（北村龍平監督）に出演。 フジテレビ系ドラマ『愛し君へ』、『Dr.コトー診療所 2004』、『めだか』にも出演。
2005 年	日本テレビのシナリオ登竜門『目の鱗、ぽろり』（脚本／北村尚子）に主演。 フジテレビ系ドラマ『エンジン』や日本テレビ系ドラマ『女王の教室』、TBS 系ドラマ『恋の時間』に出演。
2006 年	映画『バルトの楽園』（出目昌伸監督）に出演。またテレビでは TBS 系ドラマ『クロサギ』や、前作が好評を博したフジテレビ系ドラマ『Dr.コトー診療所 2006』に出演。
2006 年 5 月 21 日	渋谷 DUO にてライブ『ライフとは「泉谷ショック！！」』を開催。
2007 年	映画『キャプテントキオ』（渡辺一志監督）に出演し、またアメリカ 3D アニメ映画『モンスターハウス』の吹き替えにも挑戦。 フジテレビ系『東京タワー～オカンとボクと、時々、オトン』、テレビ朝日系『女帝』に出演。 音楽の分野ではフジテレビ系アニメ『ゲゲゲの鬼太郎』のオープニング

	テーマを担当し、さらにデビュー35 周年を記念した 10 枚組 BOX CD『黒いカバン』を発売。
2007 年 5 月 13 日	渋谷 DUO にてライブ『フルライブ！35 曲制覇』を開催。
2008 年 1 月～	TBS『R-ゼロ』、CS 朝日『泉谷しげると翼なき野郎ども』音楽番組を同時にスタートさせる。 またフジテレビ系ドラマ『ハチミツとクローバー』にレギュラー出演。
2008 年 5 月 11 日	60 歳還暦を迎え SHIBUYA-DUO MUSIC EXCHANGE で還暦記念ライブ『泉谷還暦・誕生ライブ～オレの歌は君の季節になれるか？～』を開催。 同日、通販・ライヴ会場限定販売シングル「すべて時代のせいにして」（アルバムと同名）を発売。
2008 年 5 月～	「土地土地の歴史と向かい合い、歌の季節を求める旅～オレの歌は君の季節になれるか？～」をコンセプトに、ライヴ・ツアー『ロードオフライブ』を実施。
2008 年 9 月 20 日	7 年振り、ポニーキャニオン移籍第一弾となるオリジナルニューアルバム「すべて時代のせいにして」を発売。
2008 年 10 月 4 日	「60×60 泉谷しげる展覧会」と銘打ち、60 曲のオールナイトライヴを開催。
2009 年 1 月	フジテレビ系ドラマ「VOICE」に出演。
2009 年 4 月 2 日	インターネット放送局「コラコラ放送局」がスタート。
2009 年 4 月～6 月	日本テレビ系ドラマ「ザ・クイズショウ」に出演
2009 年 5 月 10 日	恵比寿ザ・ガーデンホールにて「生まれ落ちた者たちへの生誕祭」と題したライブを開催。
2009 年 6 月～	アメブロにて「泉谷しげるオフィシャルブログ・兎猫豚（うびょうとん）のみらい日記」をスタート。
2009 年 7 月～	泉谷しげる自らが描いた『うびょうとん』などのキャラクターをモチーフにした、グッズを販売するネットショップ「うびょ～とんのコラコラショップ」をスタート。
2009 年 7 月～9 月	『FUJI ROCK FESYIVAL '09』（新潟）を皮切りに、『ROCK IN JAPAN

FESTIVAL 2009』（茨城）、『NTT DOCOMO presents MONSTER baSH 2009』（香川）、『17th Sunset Live 2009 Love & Unity』（福岡）、『杜のフェスティバル 2009』（広島）など、各地で開催された夏フェスに出演。

泉谷しげる PROFILE

泉谷しげる主な作品	
アルバム	『春夏秋冬』・『家族』・『1 80 のバラッド』・『90 1s BALLAD』・『IZUMIYA SELF-COVERS』・『自画自賛』・『私には夢がある』・『IRA』・『起死回生』・『すべて時代のせいにして』など
ドラマ	『戦後最大の誘拐・吉展ちゃん事件』（ANB）・『金曜日の妻たちへ』（TBS）・『谷口六三商店』（TBS）・『ひまわり』（NHK）・『ケイゾク』（TBS）・『Dr. コトー診療所』（CX）・『愛し君へ』（CX）・『エンジン』（CX）・『目の鱗、ぽろり（シナリオ登竜門）』（NTV）・『女王の教室』（NTV）・『ハチミツとクローバー』（CX）『VOICE』（CX）など
映画	『ええじゃないか』（松竹）・『ビリケン』（シネカノン）・『ケイゾク』（東宝）・『白痴』（白痴製作実行委員会）・『ヒート・アフター・ダーク』（日活）・『GODZILLA-FINAL WARS』（東宝）・『天使』（SEP）・『キャプテントキオ』・『モンスターハウス（注・アフレコ出演）』・『旅立ち～足寄より』など
ビデオ・DVD	『デス・パウダー』・『ネイビー・ロック・ウォー撃破せよ』・『らくがき愚連隊』（東映 V シネマ）・『HOWLING LIVE』・『日本を救え！！』・『泉谷しげる大全集・全身全霊』・『ロードオブライブ with 泉谷しげる』・『泉谷展覧会 60×60』など
書籍	『わが奔走』・『泉谷しげるの治外法権』・『IMPACT』・『イズミヤサウルスの逆襲 恐竜と呼ぶな！大センパイと呼べ！』・『ひとりフォークゲリラお前ら募金しろ！』・『とぎすまされた六感』など
CM	『第一生命』・『横浜ゴム』・『アサヒビール／J.O.』・『旭化成／WARU』・『日清食品／どん兵衛』・『興和新薬／フィニッシュコーワ』・『インクリメント P／MapFan』・『大塚製薬／オロナミン C』・『総務省／不法電波』・『厚生労働省／児童虐待』・『東日本ハウス／宿泊体験』・『ニューギン／泉谷しげるの座頭市物語』・『松下電器産業／VIERA（インターネット CM）』・『プラト／弾いて歌える DS ギター “M-06”』など